

アプローチ空間に着目した 樹林内散策路の景観評価

— 大阪府営大泉緑地「樹のみち」を事例として —

第1章 背景および目的

背景

都市公園の樹林地は、散策することで休養休息の効果が得られる

- ▶ 樹林の内部環境の充実に加え、「入ってみたい」と思うような樹林景観の整備や管理が求められる

目的

樹林内散策路のアプローチ空間の景観評価からそのあり方を探る

研究の流れ

1章：背景および目的・方法

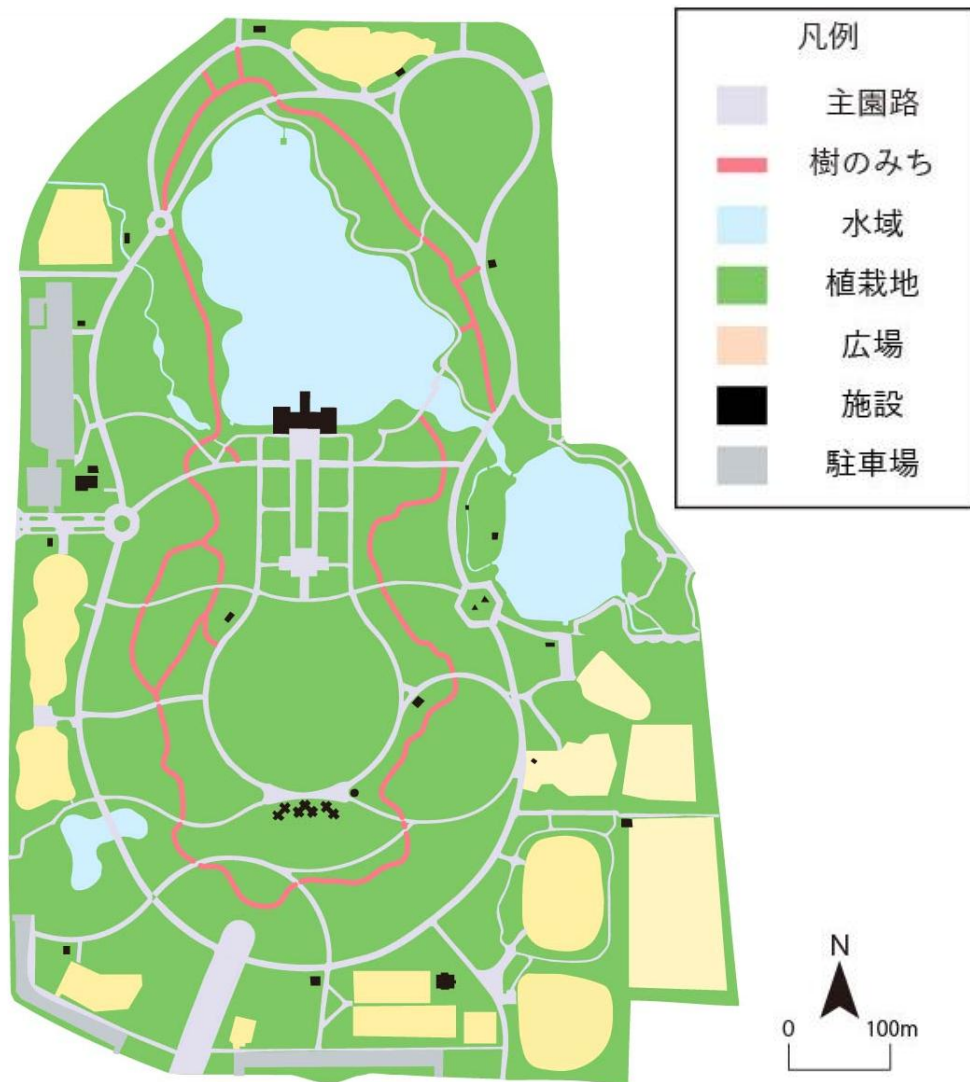
2章：樹林内散策路のアプローチ空間の物的特性の把握

3章：樹林内散策路のアプローチ空間の景観評価

4章：「入ってみたい」樹林内散策路のアプローチ空間のあり方

第1章 対象地

対象地：大阪府宮大泉緑地



アプローチ空間

舗装された主園路から
「樹のみち」に入る空間
4 2箇所



樹のみちのアプローチ空間

第2章 アプローチ空間の物的特性 《方法》

調査日時

2025年10月・11月

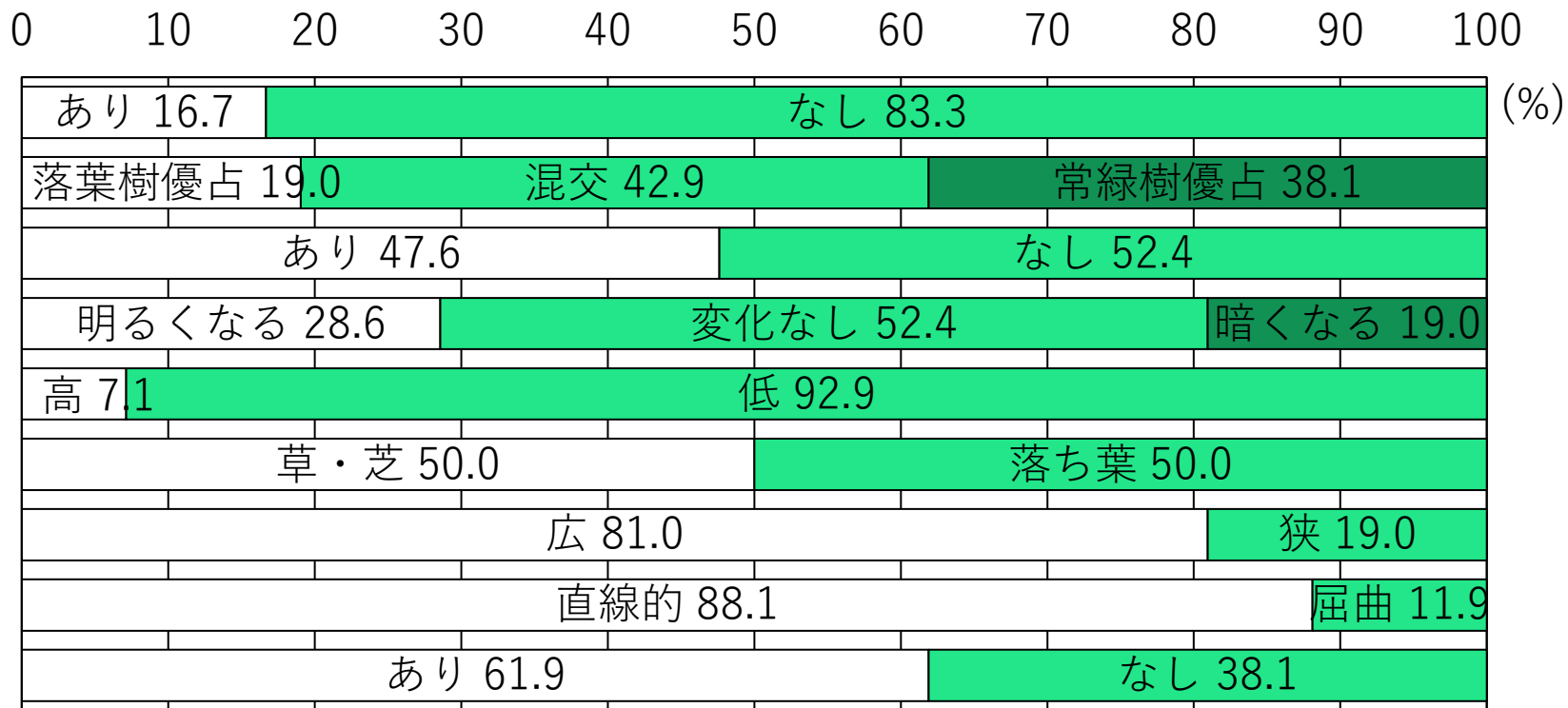
写真撮影

主園路からアプローチ空間の景観を撮影

調査項目

傾斜・樹林構成・見通し・明るさの変化・立木密度
林床・幅員・形状・看板の有無

第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

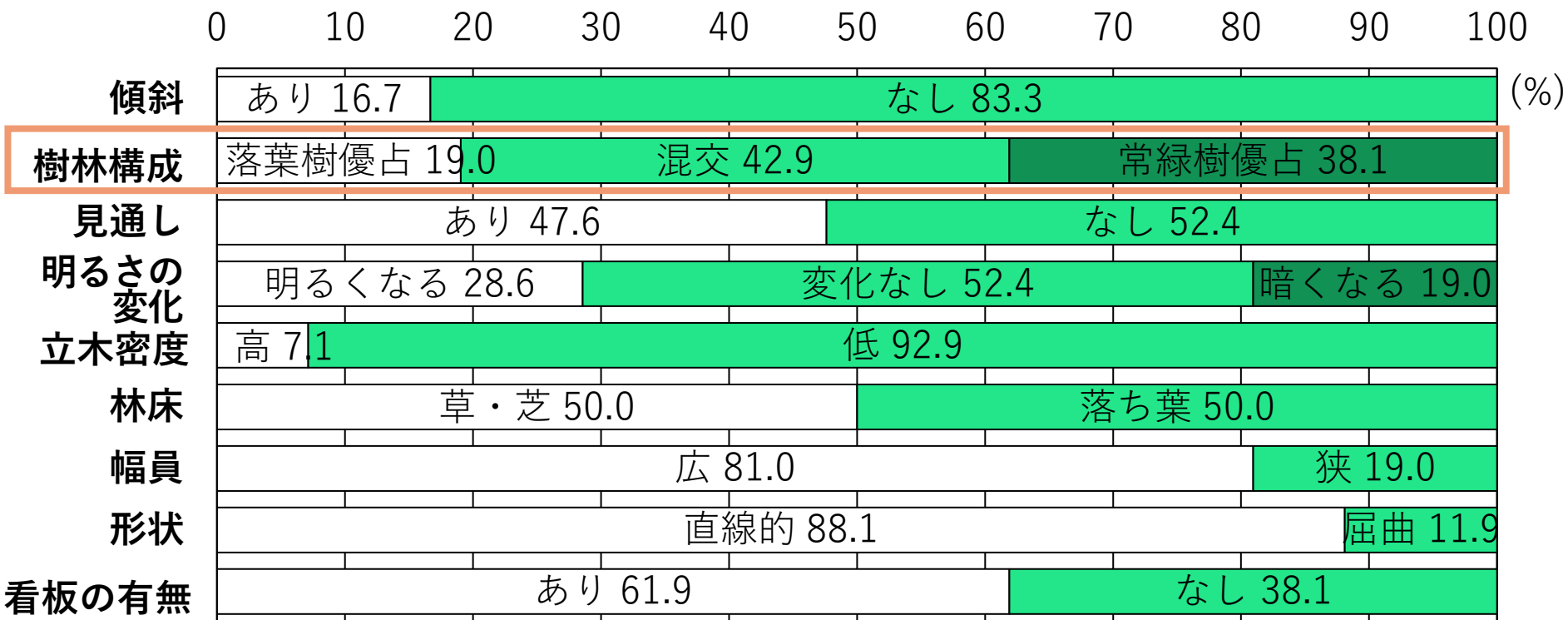
| | | | |
|--------|------------|-----------|------------|
| 傾斜 | あり 16.7 | なし 83.3 | (%) |
| 樹林構成 | 落葉樹優占 19.0 | 混交 42.9 | 常緑樹優占 38.1 |
| 見通し | あり 47.6 | なし 52.4 | |
| 明るさの変化 | 明るくなる 28.6 | 変化なし 52.4 | 暗くなる 19.0 |
| 立木密度 | 高 7.1 | 低 92.9 | |
| 林床 | 草・芝 50.0 | 落ち葉 50.0 | |
| 幅員 | 広 81.0 | 狭 19.0 | |
| 形状 | 直線的 88.1 | 屈曲 11.9 | |
| 看板の有無 | あり 61.9 | なし 38.1 | |

あり：16.7%

なし：83.3%



第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



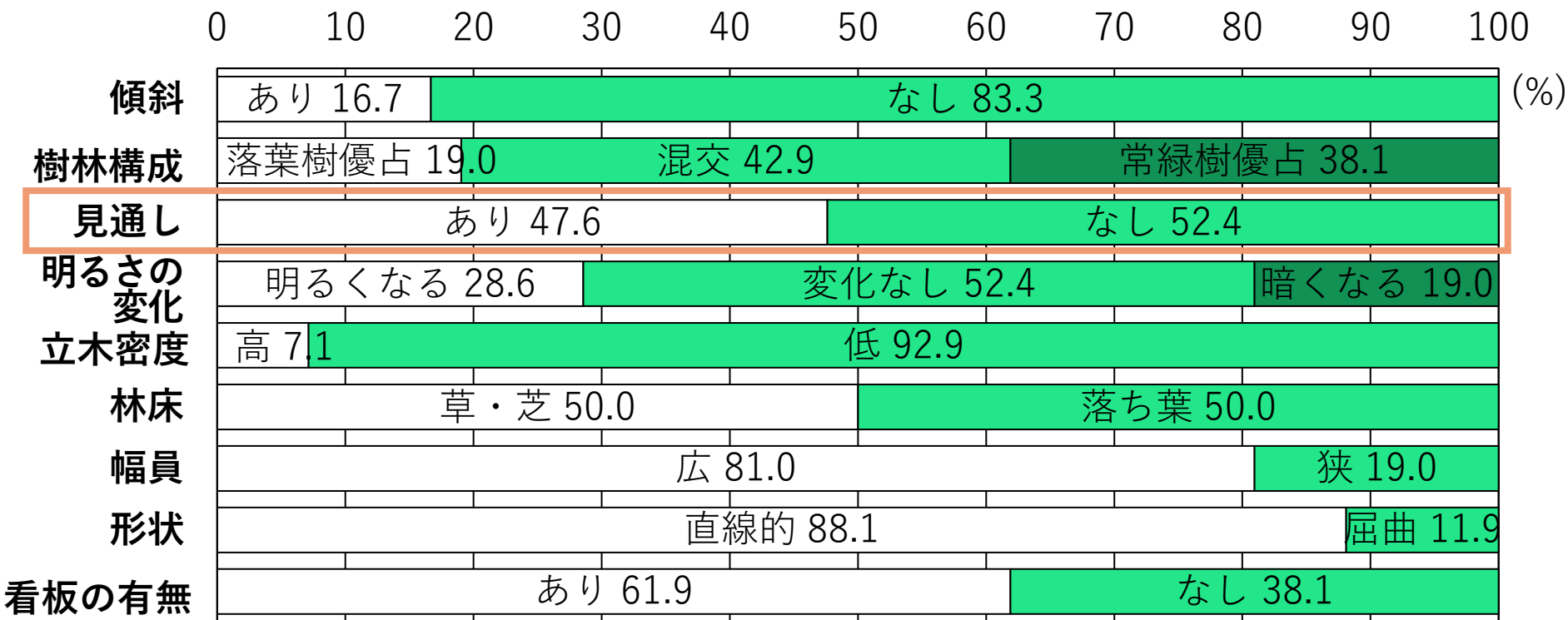
落葉樹優占：19.0%

混交：42.9%

常緑樹優占：38.1%



第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》

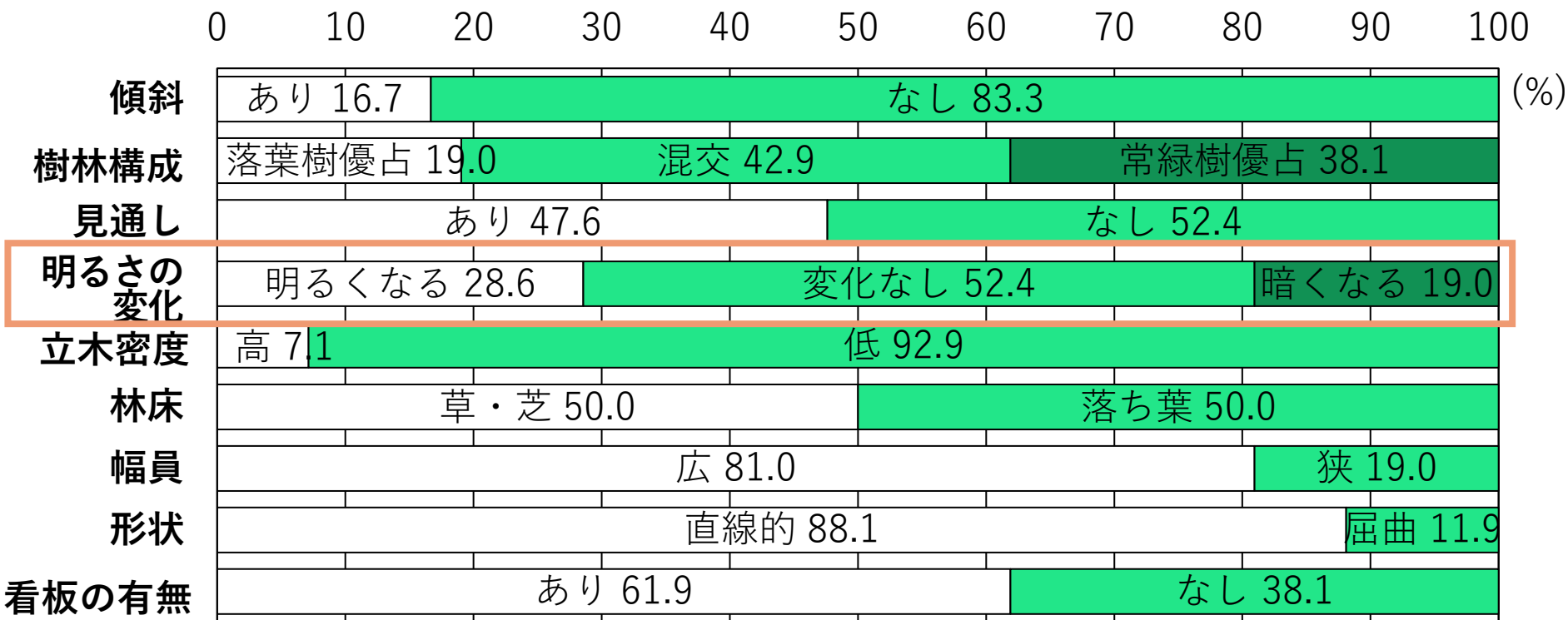


あり：47.6%

なし：52.4%



第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



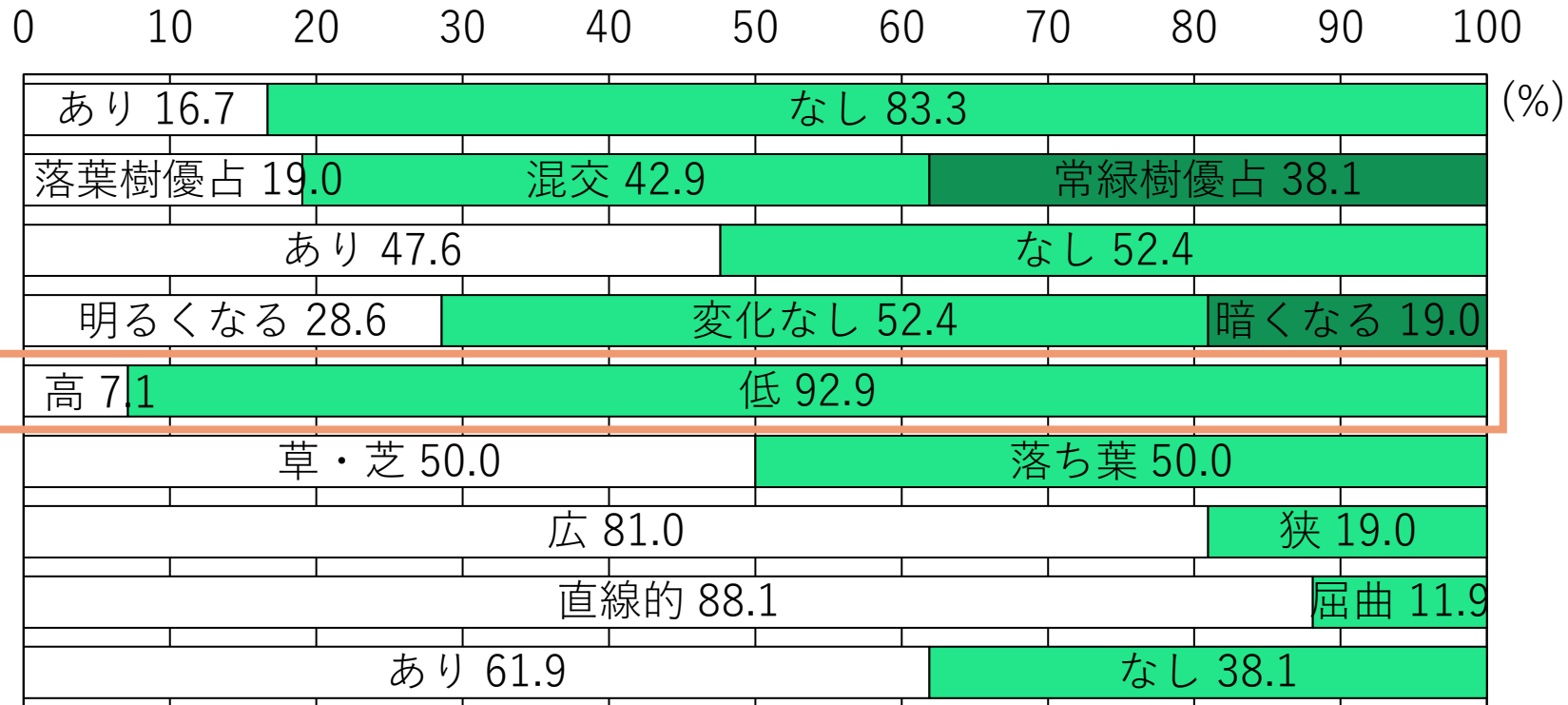
明るくなる : 28.6%

変化なし : 52.4%

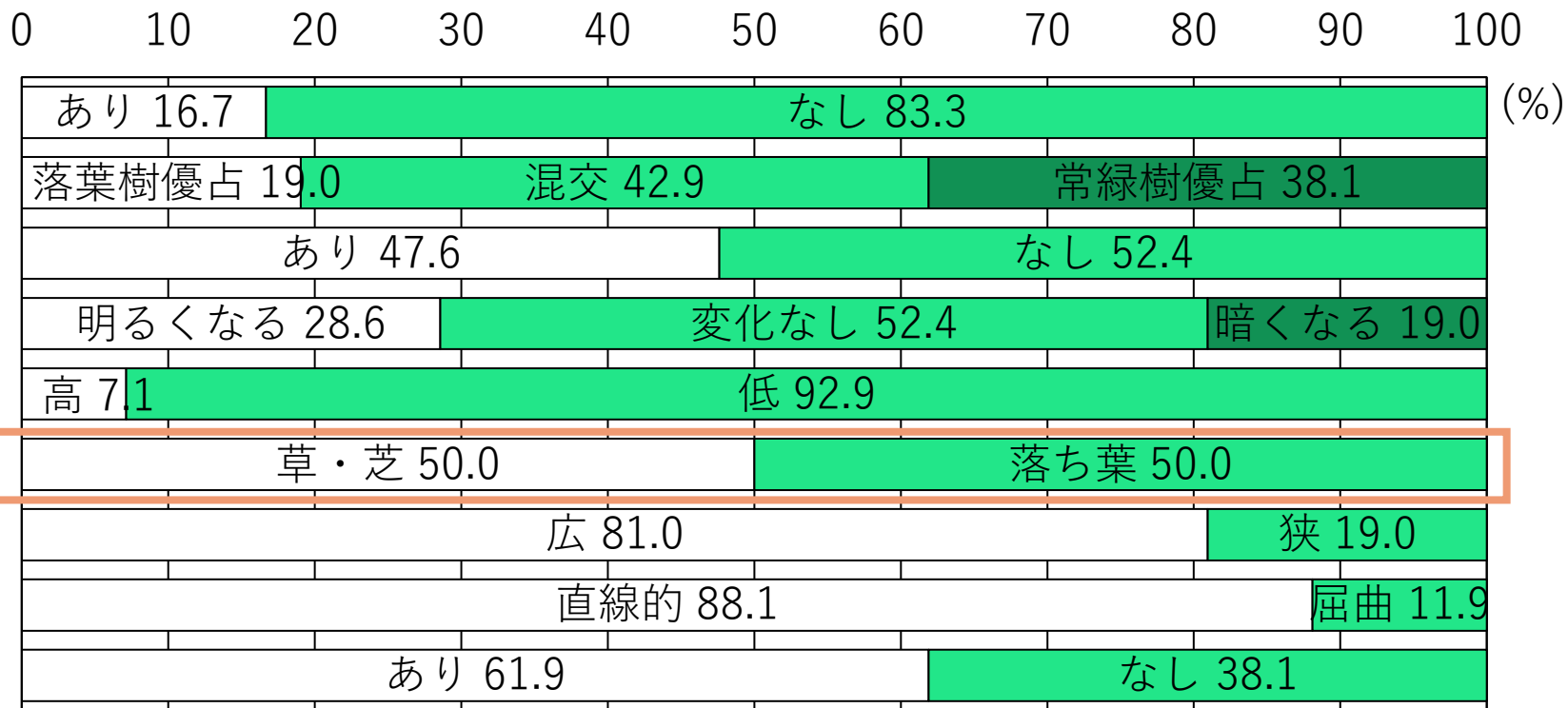
暗くなる : 19.0%



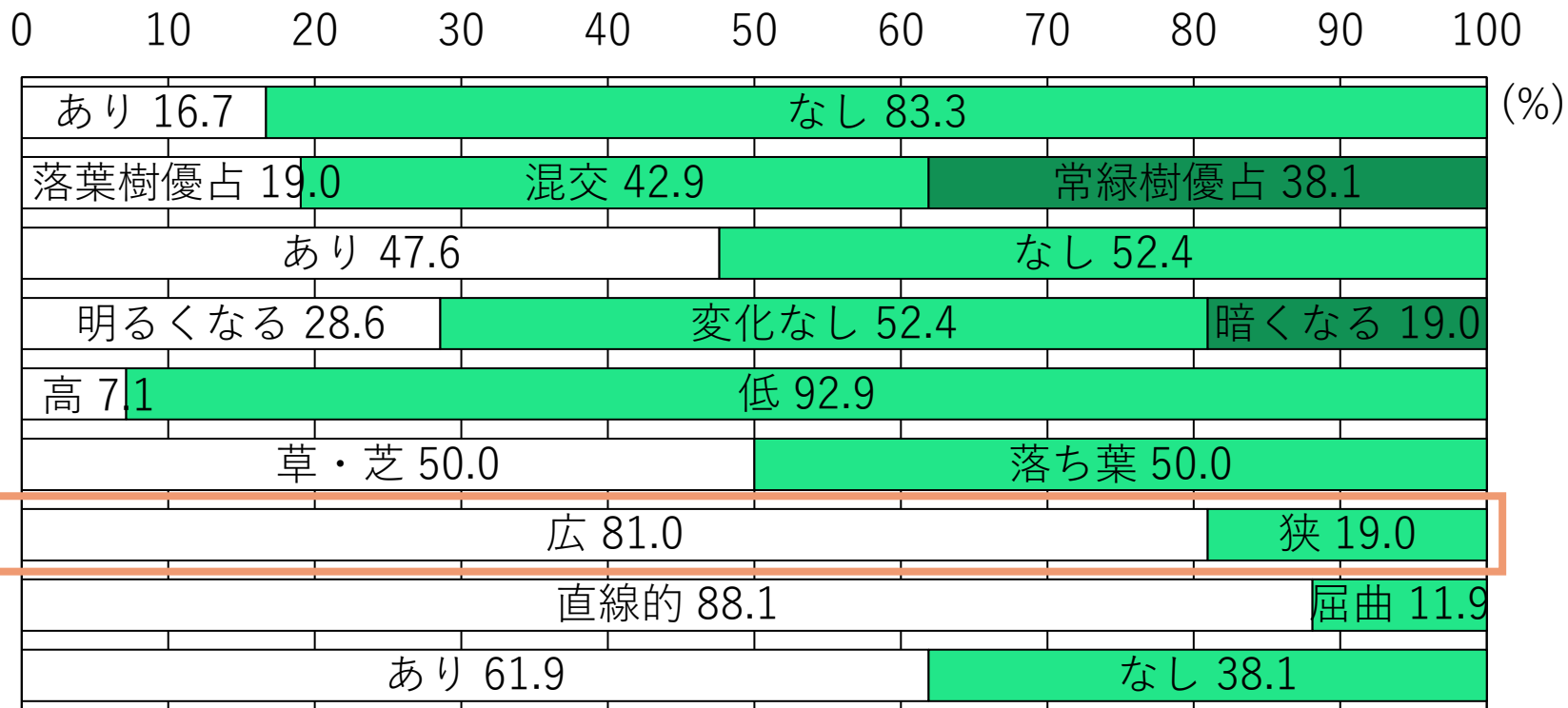
第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



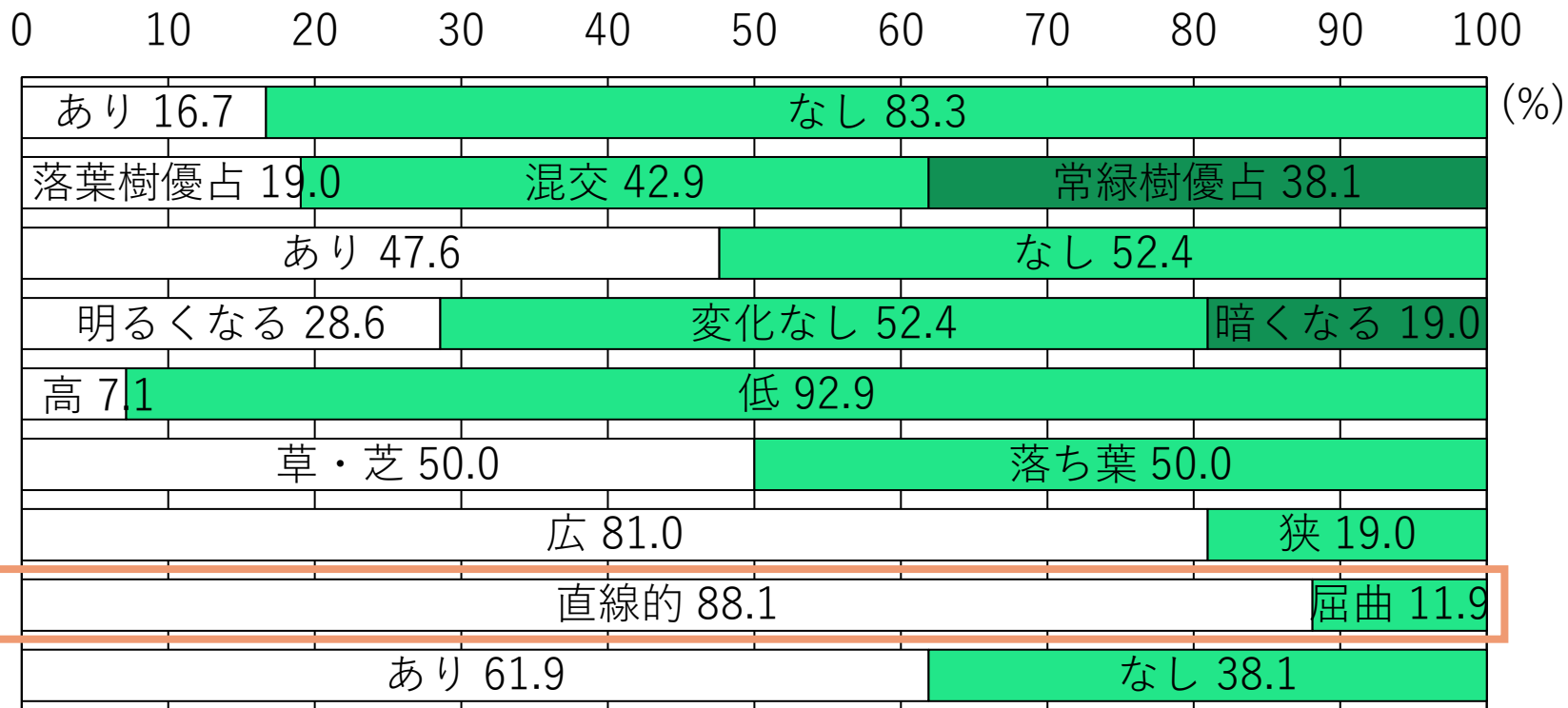
第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



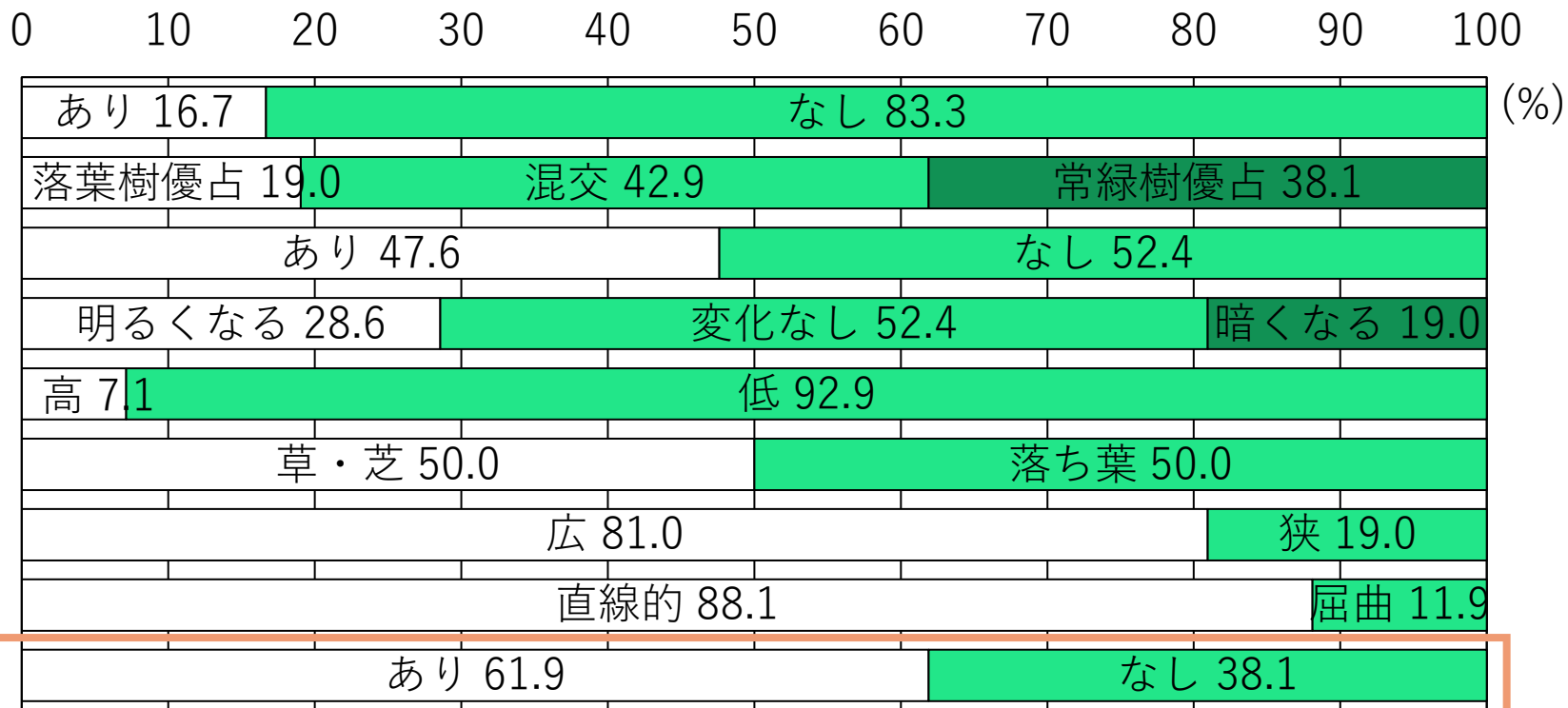
第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》

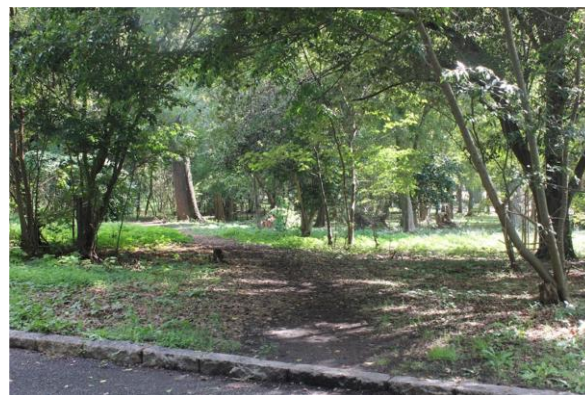


第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》

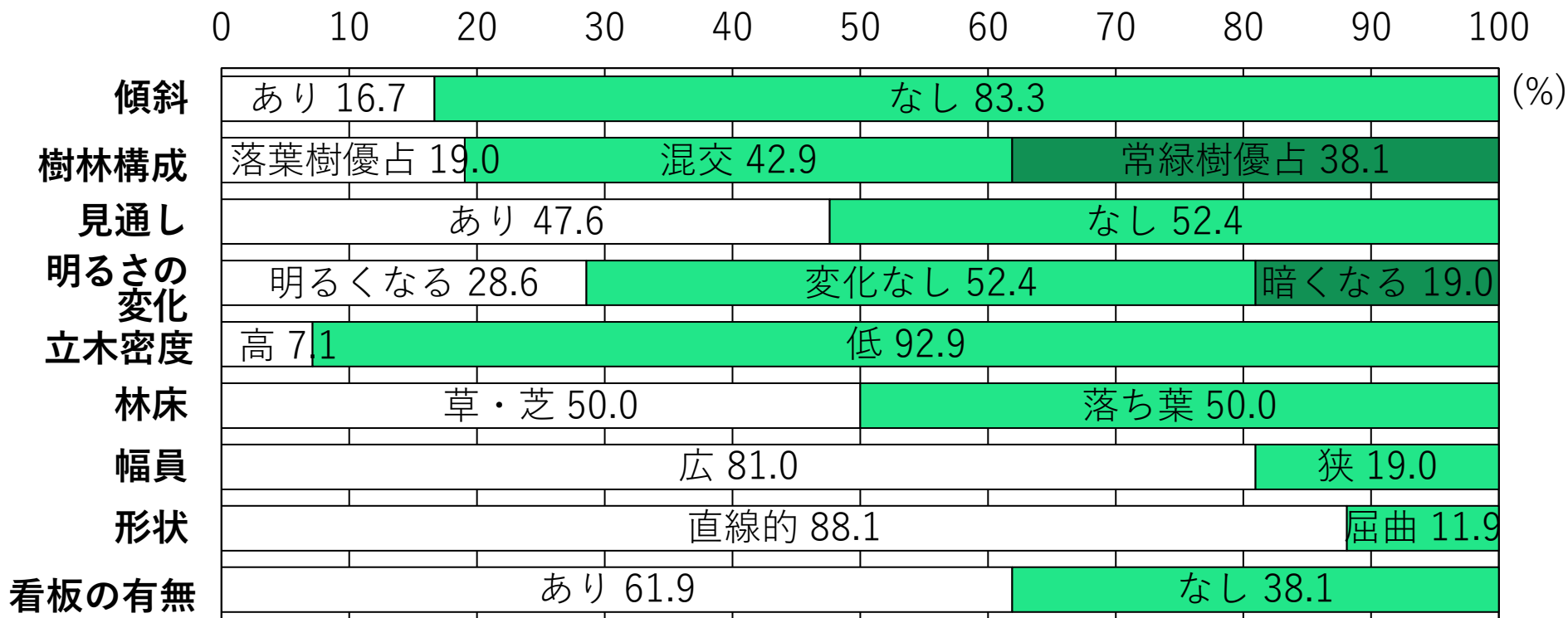


あり：61.9%

なし：38.1%



第2章 アプローチ空間の物的特性 《結果》



特徴を捉える

「樹のみち」の入口 : 42景

景観の判別が難しい箇所を除く : 34景

同一タイプを統合する : 28景

第3章 アプローチ空間の景観評価 《方法》

写真を用いた景観評価実験

時期

2025年11・12月

参加者

大阪公立大学の学生19人

使用画像

28景

実験方法

スクリーンに写真を映し、
5段階評価で回答を得た

調査項目

● 印象評価

美しい⇔醜い
開放的な⇔閉鎖的な
自然な⇔人工的な
など 計12対

● 総合評価

入ってみたい⇔入ってみたいくない

解析方法

因子分析：印象評価の特徴
重回帰分析：総合評価と因子の関係
相関比：物的特性と因子の関係

第3章 因子分析《結果》

| 印象評価項目 | 第1因子 | 第2因子 |
|------------|--------|--------|
| 美しい | 0.784 | 0.538 |
| 開放的な | 0.850 | -0.209 |
| 自然な | -0.177 | 0.509 |
| 明るい | 0.682 | -0.046 |
| 管理の行き届いている | 0.888 | -0.013 |
| 変化のある | -0.609 | 0.603 |
| 快適な | 0.926 | 0.323 |
| 期待感のある | 0.137 | 0.882 |
| すっきりとした | 0.960 | -0.169 |
| 楽しい | 0.298 | 0.910 |
| 安心な | 0.940 | -0.228 |
| 緑豊かな | -0.277 | 0.729 |
| 二乗和 | 5.84 | 3.28 |
| 寄与率 | 48.68% | 27.35% |
| 累積寄与率 | 48.68% | 76.02% |

第3章 因子分析《結果》

| 印象評価項目 | 第1因子 | 第2因子 |
|-------------------|--------------|--------|
| <u>美しい</u> | <u>0.784</u> | 0.538 |
| <u>開放的な</u> | <u>0.850</u> | -0.209 |
| 自然な | -0.177 | 0.509 |
| 明るい | 0.682 | -0.046 |
| <u>管理の行き届いている</u> | <u>0.888</u> | -0.013 |
| 変化のある | -0.609 | 0.603 |
| <u>快適な</u> | <u>0.926</u> | 0.323 |
| 期待感のある | 0.137 | 0.882 |
| <u>すっきりとした</u> | <u>0.960</u> | -0.169 |
| 楽しい | 0.298 | 0.910 |
| <u>安心な</u> | <u>0.940</u> | -0.228 |
| 緑豊かな | -0.277 | 0.729 |
| 二乗和 | 5.84 | 3.28 |
| 寄与率 | 48.68% | 27.35% |
| 累積寄与率 | 48.68% | 76.02% |

第1因子 ▶ 整然性

第3章 因子分析《結果》

| 印象評価項目 | 第1因子 | 第2因子 |
|---------------|--------|--------------|
| 美しい | 0.784 | 0.538 |
| 開放的な | 0.850 | -0.209 |
| 自然な | -0.177 | 0.509 |
| 明るい | 0.682 | -0.046 |
| 管理の行き届いている | 0.888 | -0.013 |
| 変化のある | -0.609 | 0.603 |
| 快適な | 0.926 | 0.323 |
| <u>期待感のある</u> | 0.137 | <u>0.882</u> |
| すっきりとした | 0.960 | -0.169 |
| <u>楽しい</u> | 0.298 | <u>0.910</u> |
| 安心な | 0.940 | -0.228 |
| <u>緑豊かな</u> | -0.277 | <u>0.729</u> |
| 二乗和 | 5.84 | 3.28 |
| 寄与率 | 48.68% | 27.35% |
| 累積寄与率 | 48.68% | 76.02% |

第1因子 ▶ 整然性

第2因子 ▶ 自然的魅力

第3章 重回帰分析 《結果》

総合評価と因子の関係

| 説明変数 | 回帰係数 | t値 | p値 |
|-------|--------------|-------|----------|
| 整然性 | <u>0.378</u> | 9.555 | 7.98E-10 |
| 自然的魅力 | <u>0.360</u> | 9.004 | 2.55E-09 |
| 切片 | 0.177 | 4.536 | 0.000124 |

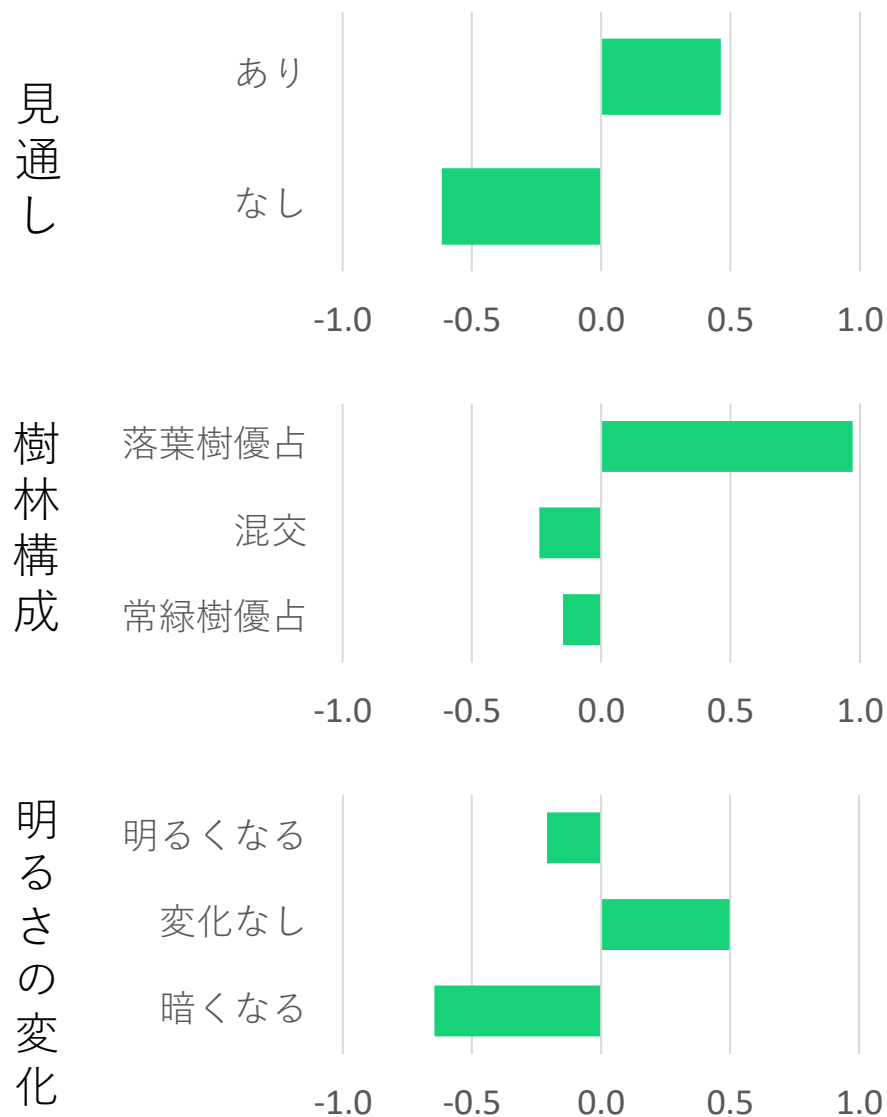
▶ 「入ってみたい（総合評価）」に有意な正の影響

第3章 物的特性と因子の相関比 《結果》

| 物的特性 | 相関比 | |
|--------|-------|-------|
| | 整然性 | 自然的魅力 |
| 樹林構成 | 0.213 | 0.000 |
| 見通し | 0.293 | 0.056 |
| 明るさの変化 | 0.020 | 0.223 |
| 立木密度 | 0.015 | 0.016 |
| 林床 | 0.058 | 0.004 |
| 幅員 | 0.026 | 0.001 |
| 形状 | 0.007 | 0.003 |
| 看板の有無 | 0.063 | 0.016 |

〔凡例〕 ■ : $p < 0.001$ ■ : $p < 0.05$

平均因子得点



第4章 まとめ

「入ってみたい」樹林内散策路のアプローチ空間のあり方

整然性を高める

- ▶ 枝打ちや下草刈りなどにより、目線の高さを遮るものを減らし、見通しを確保する
- ▶ 落葉樹をアプローチ空間に植えることや、常緑樹を間引くことで落葉樹優占にする

整然性の高い景観



自然的魅力を高める

- ▶ 枝打ち、間伐などにより光の入る部分を設けることにより、樹林内が明るく見えるよう景観を誘導する

自然的魅力の高い景観

